

北本自治会最前線

北本市には全11自治会があり、自治会ごとに独自の活動や工夫を行っている場合も多くあります。ここではユニークな自治会の活動を4つご紹介します。

01 西二地区自治会



移動スーパー×集会所で
人のつながりを生み出す

移動スーパーがきっかけで新たなサロンが誕生

西二地区自治会に移動スーパーが巡回するようになったのは、令和3年10月のこと。自治会の集会所前へ、毎週月曜日と木曜日の10時20分に食材をたくさん乗せた軽トラックがやってきました。「商品をストックに詰めてくれたり、今回なかった商品も次回は仕入れてくれたりと、きめ細やかに対応してくれているんです」と話すのは元自治会長の杉田仙太郎さん。地域で認知されるようチラシやLINE等で告知し、今ではお年寄りの買い物支援として欠かせない存在になりました。

「以前は外で移動スーパーを待っていたんですが、夏は暑いので集会所で待つようになった

この地域をどうしていくか、みんなで考えるために自治会がある。



「と集会所を管理する田中敬子さんは、言いいます。毎回集会所に集まるうちに、お互いに顔なじみに。折り紙が得意な人がいたことから、折り紙を楽しむサロン「月曜友の会」が開催されるようになりました。「友の会」は朝から集会所に集まり、移動スーパーが到着したら買い物。買い物後もお昼まで折り紙をして過ごします。皆さんは「私たち「友の会」で知り合ったんです」「家にいるより、ここでおしゃべりする方が楽しくて」とのこと。

サロンの他にも活発に利用されている西二自治会集会所。隣接する空き地で家庭菜園も始め、親子向けの収穫体験も行いました。

令和6年度自治会長に就任した桜井雅人さんはこう話します。「自治会長になって移動スーパーや集会所がこれだけ活用されていることを知りました。この地域をどうしていくかをみんなで考えるために自治会が必要。地域に役立てるよう取り組んでいきたいです」

Pick Up 自治会長 OB による「参与会」

西二地区自治会には自治会長 OB となる「参与会」というグループがあります。令和6年度自治会長の桜井雅人さんは、仕事で忙しくこれまで自治会活動に関わることはありませんでしたが、退職後の今年1月に、参与会の皆さんに自治会長就任を打診されたそうです。「参与会の皆さんが私の次の自治

会長の候補も考えてくださっていると聞いて安心しました」と桜井さんは言います。後任探しは自治会長の一番の大仕事。地域の先輩たちが担うことで現役の会長さんの負担軽減につながっているそうです。

できる範囲でちょっとしたあいさつや声掛けで地域の人たちを見守りたいです

困ったときに助け合うとか「あの人がどうしてるかな」と気にかけるのを維持するのが自治会です

元自治会長
杉田仙太郎さん

副会長・集会所担当
田中敬子さん

自治会長
桜井雅人さん

02 西高尾8丁目・高尾チサン自治会



自治会運営の
デジタル化を目指す

Pick Up

高齢者もデジタルに親しんでもらいたい

小下さんには一つ成功体験があります。「遠方に80歳を過ぎた両親が住んでいますが、スマートフォンを送ってテレビ電話で使い方を解説したところ、今ではPayPayもゲームも使いこなすようになりました。自治会でも、高齢者の方向けに講習会などを行ってデジタルに強い自治会にしていけたらいいと思います」

ホームページやLINE WORKSで
時代に合った情報発信を



自治会長
小下 賛史さん

03 緑三丁目自治会



子ども向けに内容変更
2会場ですっきりメニューが拡大

「緑三丁目自治会では、近年、ご高齢の方の退会が進む一方、若い世代の新しい会員も増えたことから、令和4年度に夏まつりの内容を大きく見直しました」と話すのは、自治会長の堀江哲雄さんです。「従来は、リヤカーに乗せた神輿を子どもが中心になって曳き歩いていましたが、曳き手減少のため、小さい子どもでも気軽に参加できる子ども向けの緑日スタイルに変更したんです。さらに、前会長の小野さんと本宿8丁目自治会長とのつながりで、合同開催することになりました」会場を緑3丁目と本宿8丁目の2箇所に分散することで、スペースが広がります。メニューが拡大。緑3丁目会場は緑日コーナーで、ヨーヨー釣りやパントマイムやスイカ割り大会を開催しました。本宿8丁目会場は体験コーナーで、竹馬乗りや囲碁・将棋、太鼓演奏が行われました。その後、大人にはカラオケで楽しい時間を過ごしてもらいました。「2会場で開催したことで混雑が解消され、参加者も大きく増加し、皆で楽しむことができました。今年も本宿8丁目と合同で夏まつりを開催する予定です」

Pick Up

自治会長の準備は
2年前から

今年度、自治会長に就任したばかりの堀江さんは、副会長を2年経験し、自治会について大まかに理解できたところだと言います。「緑三丁目自治会では、まず副会長を2年やって、その次の2年で自治会長になるという流れが続いています。副会長のときは行事の写真を撮ったり記録を残したりしながら今年度へと準備しました」

自治会長
堀江 哲雄さん